

学校だより

在マレーシア日本国大使館附属・
クアラルンプール日本人会日本人学校
第5号(平成27年8月21日発行)
URL : <http://www.jskl.edu.my>

2学期の始まりにあたって

校長 宮谷 真一郎

新たに61名(幼10名・小44名・中7名)の転入生を迎え、幼小中合わせて869名で2学期が始まりました。

夏休み中、事件・事故に巻き込まれることなく、8月18日、みな元気に登校しました。保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、私は、始業式で子どもたちに次のような問いかけをしました。

「みなさんは、あこがれるヒト、モノがありますか、ありますか。静かに目を閉じ、一度、思い巡らせてみてください。時間は5秒間です。」

この僅かな時間で、子どもたちは一生懸命に思いを巡らせてくれました。その結果、「たくさん浮かんだよ」が数名で、半数以上の子どもたちは「一人もしくは一つ浮かんだよ」という状況でした。たったの5秒間でこれほど多くの子どもたちが、「あこがれ」を意識して日々の生活を送っていることを知り、とても嬉しかったです。

ところで、今年、日本では「戦後70年」を迎えました。今、我々日本人は世界の各地でどのように生きているのでしょうか。あの戦争を生き抜いた方々もお年を召され、刻一刻と戦争の悲劇が風化しようとしている昨今、我々はこれからどのように生きていくことが求められているのでしょうか。

「先生のね、あこがれのヒトはマハティール元マレーシア首相です。そして、あこがれのモノは正門のすぐ前で大きく成長しているジャカランダの樹です。」

このジャカランダは、22年前、タマンセプテ校からココスバン校に移転する際に、マハティール氏が自ら植えられた樹です。いつも凜として爽やかで、大きな懷で優しく包み込んでくれるこの樹は、まるで、日本人学校に集う園児、児童、生徒、教職員らに「大丈夫ですか」とか「頑張っていますか」などの言葉を投げかけてくださるマハティール氏を彷彿とさせるものです。

今、マレーシアではASEANが開催され、「アジアに暮らす人々の幸せ」について話し合われています。ここマレーシアで日本人が幸せに暮らせることを踏まえ、これからのアジアや世界をリードするために必要とされるヒトとはどのような人間で、大切なモノとは何であるのか。今後、JSKLに集う子どもたちをはじめ、教職員、保護者の方々とともに真剣に考え、実践していきたいと思わせる2学期の始まりとなりました。

9月の行事予定

1日(火)	小 児童朝会 中1国際交流会	21日(月)	小6修学旅行(23日(水)まで)
2日(水)	小3国際交流会 中3国際交流会	24日(木)	ハリラヤハジ(祝日)
3日(木)	小1国際交流会 小にこにこ活動 中 生徒議会 維持資金7-9月	25日(金)	幼 誕生会 中 中間考査(14:40下校)
4日(金)	小 インターナショナルコスチュームデー なかよし国際交流会 中 朝会	29日(火)	中3 三者懇談(2日(金)まで) (中3はこの期間14:40下校)
5日(土)	日本人会盆踊り大会	30日(水)	小5国際交流会
7日(月)	参観週間(11日(金)まで) 小5国際交流会 幼 中秋節集会		
8日(火)	小 体育朝会 中 早稲田渋谷S高校説明会		
15日(火)	小2国際交流会 中 水泳大会(9:50~12:00)		
16日(水)	マレーシアデー(祝日)		
17日(木)	小 委員会 中 中間考査発表		
18日(金)	中 ラ会役員選挙		



